

# 第1回 幼稚園再編に係る地域協議会(生駒台幼稚園)

日 時： 令和3年1月26日(火)

午後3時から

場 所： 生駒台幼稚園リズム室

## 次 第

- 1 出席者紹介
- 2 地域協議会の設置について
- 3 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」に対するこれまでの意見と課題整理について
- 4 各関係者等からの意見聴取について
- 5 今後のスケジュールについて

### 配布資料

【資料1】地域協議会参加者名簿

【資料2】幼稚園再編に係る地域協議会の目的、協議内容、運営方法について

【資料3】「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」に対する意見 まとめ

【資料4】地域協議会スケジュール(案)

生駒台幼稚園地域協議会参加者名簿

資料1

(敬称略・区分別・50音順)

区分	氏名	所属団体・役職等
学識経験者	森 本文 朗	元学校長
自治会	大 植 康 弘	小明町自治会長
	松 田 真 樹	新生駒台自治会副会長
育友会	町 田 有 紀 美	育友会会計
	横 井 留 里	育友会書記
民生児童委員	田 中 三 智 子	民生児童委員 主任児童委員
	森 本 静 代	民生児童委員
学校評議員	坂 上 昌 世	学校評議員
	山 本 裕 子	学校評議員
	米 田 秀 一	学校評議員
スクールボランティア	田 端 信 哉	スクールボランティア
幼稚園	辰 巳 妙 子	生駒台幼稚園長
行政	坂 谷 操	教育こども部次長

## 幼稚園再編に係る地域協議会の目的、協議内容、運営方法について

### 1 地域協議会の目的

生駒市教育委員会が策定した「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」を踏まえ、俵口幼稚園と生駒台幼稚園、なばた幼稚園と壱分幼稚園の再編について、保護者・地域（未就園児の保護者を含む。）としての方向性をとりまとめるため、地域協議会を設置します。

### 2 協議内容

- ① 基本的な考え方で示された再編案（俵口幼稚園と生駒台幼稚園、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合し、こども園とすること。以下「原案」といいます。）を検討するに当たり懸念される課題と必要な対応について協議します。
- ② 原案に対する一部修正や追加提案等があれば、その修正案・提案等について協議します。
- ③ 方向性をとりまとめるためのその他の検討事項



- ④ 保護者・地域としての再編に対する方向性として、意見書を取りまとめ、市教育委員会に提出します。

### 3 運営方法

- ① 協議会は原則公開で開催し、開催 1 週間前を目途に市HPで日時等を周知します。
- ② 協議会の冒頭に、協議すべき内容、スケジュール、資料等について共通理解を図ります。
- ③ できる限り全ての参加者が発言できるように配慮します。
- ④ 協議会の進行は、座長（議事進行役）が行います。事務局職員は、必要ある場合は質問に対する説明を行います。
- ⑤ 必要に応じて、関係者の方に参加いただき、意見を聴取し、協議の際の参考とします。
- ⑥ 会議終了後は、会議要旨を作成し、会議資料として併せて市HPで公表します。

### 4 参加者の役割

- ・毎回、次回会議までに協議内容に関して、できるだけ意見等を整理し、とりまとめ、保護者・地域の皆さまのご意見を代弁していただくこと。
- ・地域協議会の状況を保護者・地域の皆さまにお伝えいただくこと。

## 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」へのご意見 まとめ

頁	基本的な考え方の該当部分	意見内容等
2	2 市立幼稚園の現状	①統合した場合、生駒台幼稚園は園児が増えることになる。生駒台でも今後園児が減る可能性があることを考えると、園児数が増えることはプラスなので、反対は少ないと思う。
		②こども園化するのは時代の流れだと思うし、こどもにとって人間関係の形成は大事なので、人数が増えることはいいと思う。 そのためには統合は一つの方法であるが、個人的には公立幼稚園として残ってほしいと思う。
4	2 望ましい規模を確保し、幼稚園に関する課題に対応するための具体的な方策 (1)認定こども園化	①俵口・生駒台の両方をこども園にするということも聞いたことがあるが、俵口は立地に問題があり、あの場所ではこども園にしても園児は増えないという意見もある。
6	3 具体的な方策を実施する際に留意すべきこと (1)園児の通園の負担(通園時間・通園手段等)及び通園時の安全に関すること	①俵口から来る場合はバスがないと難しいと思うが、マイカーで来ることもあるのか。生駒台幼稚園周辺は7:30~8:30まで車は入って来られないし、駐車場が狭いという問題がある。安全面からもある程度広い駐車場を確保しなければいけないと思う。
		②徒歩で通園すると時間がかかるため通園バスは必須だと思うが費用負担はどうなるのか？
		③徒歩での通園は、小学校へ上がった時の通学ルートの危険箇所を確認できるというメリットがある。俵口地域の子が生駒台幼稚園に来ると、小学校に入ったとき通園指導が必要になる。
	3 具体的な方策を実施する際に留意すべきこと (2)再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること	①俵口幼稚園、生駒台幼稚園とも小学校と合わせた制服があり、小学校低学年くらいまでは同じ制服を使っている。帽子は幼稚園の園章をはずすと、小学校の校章に変えられるようになっているので変えなければならぬ。 ②幼稚園と小学校が隣接していると、例えば懇談会が重なった時にすぐに移動できるというメリットがある。
7	3 具体的な方策を実施する際に留意すべきこと (3)幼稚園と地域との関係に関すること	①この地域は生駒台幼、生駒台小、光明中と全部1か所ずつで、地域ぐるみの活動がしやすい。俵口地区の子どもが生駒台幼稚園に通うことになれば、幼稚園は光明中地域、小学校は光明中地域と生駒中地域に分かれることになる。地域との連携はどうとっていくか？
	4 再編により考えられる効果 (1)望ましい集団規模の確保	①人数が増えると友達は増えるが、先生の数を考えると多すぎても心配である。 ②俵口幼と統合しても、遠いことや私立の白百合幼稚園の方が近い等の理由から、みんなが生駒台幼稚園に来るわけではないので、生駒台幼稚園の園児が大きく増えることはないのではないか。
	4 再編により考えられる効果 (2)こども園化による効果	①生駒駅・東生駒駅周辺で待機児童が多いので、生駒台地区でこども園化しても、待機児童解消になるのか不安がある。
8	保護者・地域等との協議について 1 協議の進め方等	①園がなくなるという噂もあり、不安に思って公立幼稚園を選ばず私立を選ぶ人もいる。早く決断されると親は安心する。

生駒台幼稚園地域協議会スケジュール(案)

	協議内容等
令和3年1月26日	<p>第1回地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方に対するこれまでの意見と課題整理の確認</li> <li>・各関係者等からの意見聴取についての確認</li> <li>・今後のスケジュールの確認</li> </ul>
令和3年2月	
令和3年3月以降	<p>第2回地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴取した意見の共有と整理</li> <li>・原案に対する協議</li> <li>・原案の検討に当たり懸念される課題と必要な対応の協議</li> </ul> <p>第3回地域協議会 (原案に対する一部修正・追加提案等があった場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修正案・追加提案についての協議</li> <li>・修正案・追加提案を実現するにあたっての課題と必要な対応の協議</li> </ul> <p>第4回地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園再編・こども園化等についての意見書」(案)の協議</li> </ul> <p>第5回地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園再編・こども園化等についての意見書」の決定・提出</li> </ul>

意見聴取  
 ・各関係団体での意見聴取  
 ・必要に応じて事務局参加による意見聴取

南こども園視察  
 ・現状把握

※協議の内容・進行状況によって変更となる場合があります。